

明するとともに沿岸漁協が歩調を合わせて補償要求を行なうことになったもの。

間に補償額に大きな開きがあり、交渉はいせんとして両者の歩み寄りがみられず行き詰まり状態になったまま。新日竊側はさる三月廿九日の交渉で補償金の配分額を出水漁協九百万円、東町同百万円、野口同百万円、黒ノ浜同六十万円、西長尾同四十万円で明らかにした。

このため出水漁協と組合員数、漁獲高もあまり変わらないといわれる東町漁協（組合員六百六十人）はこの配分額に強い不満を示し、さる六日新日竊水俣工場に補償額を増してくれよう単独交渉を行ない、このうえは対策委員会を脱退して新日竊水俣工場前に降り込みも辞さないという強硬意見もある。

このため対策委員会では第一回交渉からのいきまづを改めて説

強力なスト態勢

新日竊 労組 期限つき回答要求

三月十七日由買上げ、労働協約

改定、初任給引き上げの三項目を要求している水俣市の新日竊労組は、会側のゼロ回答に対して十一日二十四時間ストを行なったが、土曜までつぎの期限つき回答を社側に求め、強力なスト態勢を整えようとする通告した。

△回答要求 九日の開会における社側回答は不満である。ベースアップ初任給引き上げを含む一〇項目のうち土曜午後一時までに補償分を具体的に回答

答を求める。

△スト通告 十四日午後一時から

十八日午後一時までの九十六時間を含む部分スト。その他の組合員は同業職場への派遣を含む配置転換、就労を拒否。③時給課藤崎徳行氏ら各課の三六六人の指名スト。

なお同労組は十一日の二十四時間ストで社側の提議は約一千万円と見ている。十三日午後代議員会を開き、社側回答に関する件を協議

あす出水海区漁業補償対策委

水俣病問題で

水俣病問題で新日竊水俣工場に沿岸漁業の被害補償を要求して交渉中の鹿児島県出水海区漁業補償対策委員会が十四日午前十時から鹿児島県出水郡東町漁協に土曜対策委員長ほか委員十一人が集まって意見の調整をはかり、二十日ごろ予定されている新日竊水俣工場との交渉にのぞむことになった。出水海区の水俣病による漁業補償の交渉は漁協側と新日竊との